

卒業研究評価シート

学籍番号：_____ 氏名：_____

学科長

印

評価方法	学習・教育目標	評価基準	最大ポイント	評価点
・研究室での活動				
研究の背景と目的を説明することができる。	C1	研究内容を理解している。	3	
	D1	関連研究を調査し、研究の目的・意義を理解している。		
研究の方法論を説明できる。	C1 D2	研究対象・関連物質について情報を集めることができる。	6	
		研究に用いる実験方法について情報を集めることができる。		
		研究に用いる機器類について情報を集めることができる。		
実験方法に基づいて実験計画を立案することができる。	C1 D2	研究遂行のための計画や方策を生物工学、化学の知識を活用して複合的に策定している。	10	
		研究に用いる機器類に関する知識や取り扱い方についての情報を集めている。		
		研究に用いる試薬等に関する知識や取り扱い方についての情報を集めている。		
		研究目的に合った、実験方法の組み合わせを考えている。		
		安全に留意して実験計画を立案している。		
計画に沿って実験を実施できる。	D1 D2	実験手順にしたがって実験を実施している。	7	
		化学器具および機器類の使用方法を理解し、使用している。		
		実験室内でふさわしい行動をしている。		
		安全に留意して実験操作を行なっている。		
実験データを整理し記録できる。	C1 D1 D2	実験結果を必要な事項はもらさず、整理して実験ノートに記入している。	8	
		第三者が理解できるように記載されている。		
		再現性のある実験ができるように記載されている。		
		研究記録を確實に残して、適切に利用している。		
得られた結果から新たな仮説が立案でき、それを検証するための実験計画を立てることができる。	C1 D1 D2	指導教員と連携(研究の経過および成果についての協議・討論等)して行なっている。	6	
		個々の実験結果について話し合っている。		
		研究進行に伴い、その時々に応じて実験方針について話し合っている。		
中間発表(報告会)	B1 D1	発表資料が整理され、論理的に構成されている。	10	
		実験結果が研究目的に沿ってまとめられている。		
		論理的でわかりやすく研究内容を発表している。		
		積極的に自分のテーマ以外の研究員に質問している。		
		大学院生、指導教員の質問に対して、適切な応答をしている。		

評価方法	学習・教育目標	評価基準	最大ポイント	評価点
・卒業研究発表会				
課題の目的を十分に把握し、簡潔に説明できる。	B1 D1 D2	発表資料を生物工学、化学の知識を活用して作成している。	12	
調査・実験などの研究方法を、研究の流れに沿って説明できる。		研究内容が生物工学や化学の他分野の研究者にも分かり易く説明されているか		
課題と結果を関連付け説明でき、結果のもつ意味を十分理解している。		実験結果が科学的な事実と矛盾無くまとめられている		
発表の資料が聞き手に分かるように準備されている。		実験結果に対してこれまでの知識を活用して、適切にまとめられているか。		
発表の態度が堂々とし、聞き手に理解させようとする努力が見られる。		質問に対して、データを示して(開示して)適切な応答がされているか。	8	
質問の意味を正確に捉え、的確な答えをスムーズに話すことができる。		生物工学、化学の知識を活用して、適切な質問をしている。		
・学科会議評価				
卒業論文としてまとめることができる。	D1 D2	卒業研究論文要旨を適切に作成している。	20	
		研究目標に対して、理論的に記述した卒業論文が作成されている。		
		実験結果と研究目的が矛盾無くまとめられている。		
		研究の目的を理解し、社会との関連を考慮して、研究が将来どの様に発展していくか予想しまとめている。		
研究行動評価	B1 D1 D2	学科共通の「卒業研究に向けて」および各研究室のルールを遵守し、社会的責任を理解して行動している。	10	
		合計	100	

研究室での研究・実験(40%)、中間発表(10%)、卒業研究発表(20%)、卒業論文(20%)、研究行動評価(10%)を目安とする。

■上記評価項目等を参考にして、総合評価されて学科会議にて、合否判定が行われる。